

# 「森銑三刈谷の会」だより No. 31

発行 2024/5/18 (月刊・メールでの投稿歓迎)  
例会 第3土曜日 14:00-16:00 市中央図書館 参加自由

バックナンバー 刈谷市中央図書館>森銑三刈谷の会  
共同代表 神谷磨利子・鈴木 哲 tetsu\_s@katch.ne.jp

31:2024/4/13 (土) 飯田芳子「森銑三と博物学者・  
木村兼葎堂(1736-1802)」: 参加 12 人

「森銑三と博物学者・木村兼葎堂(1736-1802)」を担当  
して 飯田芳子

4/13 (土) の森銑三刈谷の会のテーマは「森銑三と博物学者木村兼葎堂」であった。木村兼葎堂については初見に等しいので概略の形でその人物を紹介することにしたものの、この人物は銑三が偉人暦に取り上げた中でも取り分けてつかみどころのない人物に思えた。そこで『木村兼葎堂日記』から格別彼が親しく往来した人々を中心に、略年譜・森銑三と木村兼葎堂・芥川龍之介『僻見』・兼葎堂と上田秋成・『森銑三著作集』正編の中の「木村兼葎堂」項目を紹介する事にした。同時代の人々が兼葎堂をどのように感じ、兼葎堂がそれらの人々に如何に対したかを知ることによって、兼葎堂の偉大さを理解できるのではなかろうかとの思いがあった。それは有坂道子氏の『木村兼葎堂のネットワークに見る知の交流』CEL117号 (og-CEL.jp) から知るところである。彼は愛され、信頼に足る偉大な人物であったことを証明しており、『大日本史』の編纂事業の為上坂した水戸彰考館の総裁立原甚五郎とも互恵の関係を生み、思いがけない足跡を残している。『一角纂考』では玄沢に意見を聞き翻訳を依頼し玄沢の『六物新志』を合本自費出版、兼葎堂の貢献として紹介されている。

この一角鯨について調査する姿勢が、森銑三が博搜して順次誌上に寄稿する行動にも共通するものを感じた。私はこの機会を神谷磨利子さんから与えられなかったらこの人物についてこれほど知る事もなく関心を持つこともなかったように思う。今ではこの木村兼葎堂という深い森を探索したいという好奇心が沸き上がってきて抑えがたいものを感じる。兼葎堂はその人脈を尋ねるだけでも豊かな人物に思えるからである。

会の最後は、森銑三の『おらんだ正月』から「大阪の生んだ博物学者木村兼葎堂」(『森銑三著作集』第五巻 pp. 386-390) と『偉人暦』続編(上)(中公文庫、pp. 62-64) から「一月二十五日 木村兼葎堂」の二作品の輪読に移った。

木村兼葎堂と牧野富太郎の共通性 河橋育実

鈴木哲さんも当日おっしゃいましたが、木村兼葎堂は牧野富太郎と同じだと思いました。家業は人任せにでき、

収集や研究にお金と時間が費やせる環境だったのですね。そして酒造という共通点と、牧野家は酒腐で、兼葎堂は規則より多く酒を造った咎で財産没収されて、一旦は心配な状況になりました。それでもどちらも後世に名を残されています。NHKの連続テレビ小説『らんまん』を思い返しながら飯田さんのお話を聞いていました。ありがとうございました。

『兼葎堂日記』の大槻玄沢・大田南畝・上田秋成

鈴木哲

木村兼葎堂は森著作集続編別巻(1995)人名索引に26件あった。『兼葎堂日記』は荷風『断腸亭日乗』を連想させる。大槻玄沢は森『おらんだ正月』表題作、大田南畝は2024/6/15のテーマ、上田秋成「菊花の約」『雨月物語』は森三郎「赤穴宗右衛門兄弟」『赤い鳥』(1931/3)典拠で興味深い。森「大田南畝」『騷人』(1926/9)に「大田南畝のオホタは“大田”に作るを正しとする」とある。外山滋比古が「”オランダ”でなく”おらんだ”であるのもいい」と『新編おらんだ正月』岩波文庫(2003)「解説」で述べている。外山は旧制刈谷中学出身で、2024/9/21テーマである。人のつながりは広い。

兼葎堂『一角纂考』と玄沢『六物新志』 神谷磨利子

飯田さんが兼葎堂を取り上げられたのは本会第28回「森銑三著『おらんだ正月』(2024/1/20)が契機である。富山房百科文庫版の『おらんだ正月』(1978)口絵に大槻玄沢の塾で開催の「芝蘭堂新元会図」(早稲田大学図書館所蔵)がある。図の中ほどの床の間には一角魚を描いた幅が掛けられている。兼葎堂は西洋薬材の一角に興味があり『一角纂考』を著し、玄沢の『六物新志』と共に版行する。当日の資料によれば『兼葎堂日記』天明6年4月15日に、来訪した玄沢に中食を出したと記されている。この日、兼葎堂は玄沢に一角に関する蘭書の翻訳を依頼し、『一角纂考』『六物新志』の刊行の相談をしたのであろう。刈谷市中央図書館村上文庫にはこの二書が所蔵されており、ともに「浪華兼葎堂蔵板」と書かれている。森銑三『偉人暦』『おらんだ正月』の兼葎堂、玄沢の項は村上文庫整理の時期に執筆の端緒があったのであろう。

予定

32:2024/5/18(土) 村瀬典章氏「刈谷図書館と村上文庫展」

33:2024/6/15(土) 鈴木哲「森銑三の百科事典項目『大田南畝』」